

第14回SCAPARAワークショップ「臨床と病理から考える爬虫類の疾病」 開催報告

爬虫類・両生類の臨床と病理のための研究会
The Society for Care and Pathology on Reptiles and Amphibians (SCAPARA)



日程:2015年11月29日(日曜日) 9:20~17:00
懇親会 17:30~20:00
会場:メルパルク京都

11月29日(日)京都駅前のメルパルク京都において、第14回SCAPARAワークショップ「特集 臨床と病理から考える爬虫類の疾病」が開催されました。

初めての関西開催のため不安もありましたが、参加人数は約70人強で、懇親会も予想を上回る27人もの参加があり、盛会のもと無事終了することができました。



松井先生



宇根先生

午前の部では、松井正文先生(京都大学名誉教授)と宇根有美先生(麻布大学教授)に講演をしていただきました。

講演1. 日本におけるオオサンショウウオの現状
講演2. 日本における両生類の新興感染症の現状

松井正文(京都大学名誉教授)
宇根有美(麻布大学教授)

午後の部は、臨床-病理検討会(CPC)の形式で、動物の診療に当たっている臨床医と病理診断を行う病理医が集まり、病例検討を行いました。

検討する疾病と担当臨床医は、以下のとおりです。

臨床から	① ヘビの呼吸器病を考える	鈴木哲也（すずき動物病院）
	②トカゲの皮膚病を考える	田向健一（田園調布動物病院）
	③カメのマウスロットを考える	高見義紀（パーツ動物病院）
病理から	①～③	宇根有美（麻布大学）



全ての講演と臨床-病理検討会の後に、講演者やテキスト執筆者全員に対して、ゴリス・リチャード先生の代理として宇根先生と松井先生から感謝状が贈呈されました。





爬虫類・両生類の臨床と病理のための研究会 事務局

〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71
麻布大学獣医学部病理学研究室内 SCAPARA事務局
Tel・Fax: 042-769-1628 E-mail: v-path@azabu-u.ac.jp
